

## 初任者研修

～旭川医科大学病院の組織の一員として出発～

旭川医科大学病院では、新任者65名を迎え入れ、8日間の日程で初任者研修を行いました。COVID-19感染拡大予防の観点から、研修前には新任者全員の体調確認を行い、会場も分散して実施しました。研修では、看護部長をはじめ、各部門の部門長、副部門長、担当者から病院の理念や組織の概要に関する講義があり、社会人としてだけでなく、医療人、組織の一員としての自覚醸成の機会となりました。



Zoomを活用して、2つの会場に分かれて研修を行いました。会場の映像、音声、講義スライドを画面共有しながら実施したため、会場は分かれていても、一体感のある研修となりました。



講義終了後には今後どのように生かしていこうと考えているのか、自身の学びや考えを発表しました。



しんじんの時間では、一人ひとりが自己紹介をし、自分の今年度の意気込みや趣味について語り、研修者間での交流を図りました。Zoomを通して、部署の師長も自己紹介を聞き、新任者を知る機会となりました。



操作研修では、病院情報システムの基本的操作に加えて、勤務管理と電子カルテの概要について確認しました。



感染対策の基本である手指衛生やPPE着脱の正しい手順について確認しました。

配置部署に応じ、一部の新任者には、N-95マスク装着研修を実施しました。

医療安全の講義では、コミュニケーションエラー防止のための指示・伝達のルールやチェックバックについて学びました。